

勉誠出版

日本語学会 会員様対象 特別割引のご案内

全品**20%OFF**

割引クーポンコード: aef3757f68
(使用期限: ~2022年6月30日)

謹啓

新緑の候、日頃より弊社をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。
このたび、会員様対象の特別割引セールを行うことになりました。
当リストの新刊書籍をはじめ、勉誠出版タイトル全品が対象となります。
この機会にぜひともご購入をご検討くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

●ご注文について

- ・弊社ウェブサイトよりご注文を承ります。

<https://bensei.jp>

各種クレジットカード、paypal(クレジットカード・デビットカード)でのご決済が可能です。
ぜひご利用くださいませ。

割引クーポンコード: **aef3757f68** (使用期限: ~2022年6月30日)

こちらの10ケタの英数字を、必ずご入力ください！

未入力の場合、割引が適用されず、定価でのご請求となります。ご了承ください。

- ・メール添付、FAX、電話でもお受けしております。
ご氏名・ご住所・電話番号・公費／私費の区別・公費の場合は必要書類・宛名・日付の有無をお知らせください。
- ・**3000円以上のお買い上げで、国内全国送料サービス**
(※ 3000 円未満の場合は送料一律 300 円。なお日本国外への配送に関しては、実費を頂戴します)

***ウェブサイト以外の方法によるご注文の際は、
日本語学会の会員であることをお知らせください。***

●ご連絡先

Mail info@bensei.jp
電話 03-5215-9021
FAX 03-5215-9025

「研究書 新刊・近刊のご案内」が
右のQRコードからダウンロードいただけます。



勉強出版 注文書		ご送付先（氏名・住所・電話番号）
Email info@bensei.jp		
FAX 03-5215-9025		通信欄 ※お支払い方法（公費・私費）、必要書類はこちらにご記入ください
※メール、FAX、郵送にてご注文を承ります。 ※メールやFAXの送り状の本文に直接ご注文内容をご記載いただくかたちでも結構です。		

書 名	本体価格	冊数	備考欄

備考欄

勉誠出版 新刊・近刊書籍リスト（2021・2022年刊行）

No.	書名	著者名	刊行年月	ISBN	定価（税込）	割引価格（税込）	分野	注文教
1	中世東国日蓮宗寺院の地域的展開	佐藤博信 著	2022/05	978-4-585-32016-6	¥13,200	¥10,560	日本史（前近代）・歴史・研究書	
2	近代中国美術の境界―越境する作品、交錯する藝術家 〈アジア遊学〉	瀧本弘之・戦咲梅 編	2022/05	978-4-585-32515-4	¥3,850	¥3,080	美術・音楽・芸能・研究書	
3	中世神道入門―カミとホトケの織りなす世界	伊藤聡・門屋温 監修／新井大祐・鈴木英之・大東敬明・平沢卓也 編	2022/04	978-4-585-31006-8	¥4,180	¥3,344	哲学・宗教・民俗・研究書	
4	入門 中国学の方法	二松學舎大学文学部中国文学科 編	2022/04	978-4-585-30005-2	¥1,760	¥1,408	東洋文学・文学・研究書	
5	杜甫研究年報 第五号 〈杜甫研究年報〉	日本杜甫学会 編	2022/04	978-4-585-39445-7	¥2,200	¥1,760	東洋文学・文学・研究書	
6	北条義時の生涯―鎌倉幕府の草創から確立へ	菊池紳一 監修／北条氏研究会 編	2022/04	978-4-585-32014-2	¥3,080	¥2,464	日本史（前近代）・歴史・研究書	
7	地域文化の可能性	木部暢子 編	2022/03	978-4-585-32015-9	¥2,970	¥2,376	日本語・言語・研究書	
8	訳注 琉球文学 『佐銘川大ぬし由来記』『周蘭両姓記事』『思出草』『浮縄雅文集』『雨夜物語』『永峰和文』	島村幸一・小此木敏明・屋良健一郎 著	2022/03	978-4-585-39009-1	¥12,100	¥9,680	日本古典文学・文学・研究書	
9	中国の娯楽とジェンダー―女が変わる／女が変わる 〈アジア遊学〉	中国ジェンダー研究会 編	2022/03	978-4-585-32513-0	¥3,080	¥2,464	社会科学・研究書	
10	奈良絵本『太平記』の世界―永青文庫所蔵『絵入太平記』全挿絵影印ならびに	中根千絵・森田貴之 編	2022/03	978-4-585-39007-7	¥55,000	¥44,000	美術・音楽・芸能・研究書	
11	アジアの出産とテクノロジー―リプロダクションの最前線 〈アジア遊学〉	白井千晶 編著	2022/03	978-4-585-32514-7	¥3,080	¥2,464	哲学・宗教・民俗・研究書	
12	一刀斎先生剣法書訳注 Ittousai Sensei Kenpousho: An Annotated Text in Modern Japanese―剣豪伊藤一刀斎の教え	竹田隆一・長尾直茂 編	2022/03	978-4-585-37002-4	¥1,980	¥1,584	日本史（前近代）・歴史・研究書	
13	論究日本近代語 第2集	日本近代語研究会 編	2022/03	978-4-585-38522-6	¥16,500	¥13,200	日本語・言語・研究書	
14	宋版一切経（福州版）調査提要―本源寺蔵の調査を通して	福州版一切経調査研究会 編	2022/03	978-4-585-31010-5	¥7,150	¥5,720	東洋史・歴史・研究書	
15	宗教遺産テキスト学の創成	木俣元一・近本謙介 編	2022/03	978-4-585-31008-2	¥16,500	¥13,200	哲学・宗教・民俗・研究書	
16	ことば・ほとけ・図像の交響―法会・儀礼とアーカイヴ	近本謙介 編	2022/03	978-4-585-31009-9	¥13,200	¥10,560	哲学・宗教・民俗・研究書	
17	大日本帝国期の建築物が語る近代史―過去・現在・未来 〈アジア遊学〉	上水流久彦 編	2022/02	978-4-585-32512-3	¥3,080	¥2,464	自然科学・研究書	
18	書物学 第19巻 紙のレンズから見た古典籍 〈書物学〉	編集部 編	2022/02	978-4-585-30719-8	¥1,980	¥1,584	日本古典文学・文学・研究書	
19	本朝文粹抄 七	後藤昭雄 著	2022/02	978-4-585-39511-9	¥3,520	¥2,816	日本古典文学・文学・研究書	
20	日米交流史の中の福田なをみ <i>Naomi Fukuda and the History of Japan-U.S. Exchange</i>―「外国研究」とライブラリアン <i>“Foreign Area Studies” and the Librarian</i>	小出いずみ 著 Izumi Koide	2022/02	978-4-585-30004-5	¥7,700	¥6,160	図書館学・研究書	
21	中国道教美術史 漢魏晋南北朝篇	李松 著／土屋昌明・齋藤龍一 監訳／廣瀬直記・熊坂聡美・因幡聡美 訳	2022/02	978-4-585-37001-7	¥38,500	¥30,800	美術・音楽・芸能・研究書	
22	古文書研究 第92号	日本古文書学会 編	2022/01	978-4-585-32402-7	¥4,180	¥3,344	日本史（前近代）・歴史・研究書	
23	飛鳥井家歌学の形成と展開	日高愛子 著	2022/01	978-4-585-39006-0	¥12,100	¥9,680	日本古典文学・文学・研究書	
24	コレクションとアーカイヴ―東アジア美術研究の可能性	板倉聖哲・塚本磨充 編	2022/01	978-4-585-37000-0	¥10,450	¥8,360	美術・音楽・芸能・研究書	
25	宗教芸能としての能楽 〈アジア遊学〉	高橋悠介 編	2022/01	978-4-585-32511-6	¥3,300	¥2,640	哲学・宗教・民俗・研究書	
26	知っておきたい和食の文化	佐藤洋一郎 編	2022/01	978-4-585-33001-1	¥3,080	¥2,464	人文・一般書	
27	中国史書入門 現代語訳 北齊書	氣賀澤保規 監修／池田恭哉・岡部毅史・梶山智史・倉本尚徳・田熊敬之 訳	2021/12	978-4-585-29612-6	¥6,600	¥5,280	東洋文学・文学・研究書	
28	書物に魅せられた奇人たち―英国愛書家列伝	高宮利行 著	2021/12	978-4-585-39005-3	¥4,180	¥3,344	欧米文学・文学・研究書	
29	合戦図 描かれた〈武〉	中根千絵・薄田大輔 編	2021/12	978-4-585-32013-5	¥17,600	¥14,080	日本史（前近代）・歴史・研究書	
30	市民とつくる図書館―参加と協働の視点から 〈ライブラリーぶっくす〉	青柳英治 編著	2021/12	978-4-585-30003-8	¥2,200	¥1,760	図書館学・研究書	
31	玄奘三蔵―新たな玄奘像をもとめて	佐久間秀範・近本謙介・本井牧子 編	2021/12	978-4-585-31005-1	¥13,200	¥10,560	哲学・宗教・民俗・研究書	

勉誠出版 新刊・近刊書籍リスト（2021・2022年刊行）

No.	書名	著者名	刊行年月	ISBN	定価（税込）	割引価格（税込）	分野	注文数
32	都市からひととく西アジア—歴史・社会・文化 〈アジア遊学〉	守川知子 編	2021/12	978-4-585-32510-9	¥3,080	¥2,464	世界史・歴史・研究書	
33	両面の鬼神（オンデマンド版）—飛騨の宿禰伝承の謎	尾関章 著	2021/12	978-4-585-85414-2	¥2,640	¥2,112	人文・一般書	
34	聖徳太子信仰とは何か	榊原史子 著	2021/12	978-4-585-31007-5	¥4,180	¥3,344	哲学・宗教・民俗・研究書	
35	水門 第三十号—言葉と歴史 〈水門〉	水門の会 編	2021/11	978-4-585-32461-4	¥3,300	¥2,640	日本古典文学・文学・研究書	
36	慶應義塾図書館蔵 論語疏卷六 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫蔵 論語義疏 影印と解題研究	慶應義塾大学論語疏研究会 編	2021/11	978-4-585-31004-4	¥19,800	¥15,840	東洋文学・文学・研究書	
37	列伝体 妖怪学前史	伊藤慎吾・水厘亭水泉 編	2021/11	978-4-585-32010-4	¥3,080	¥2,464	人文・一般書	
38	室町前期の文化・社会・宗教—『三国伝記』を読みとく 〈アジア遊学〉	小助川元太・橋本正俊 編	2021/11	978-4-585-32509-3	¥3,080	¥2,464	哲学・宗教・民俗・研究書	
39	日本中世社会と村住人	蔵持重裕 編	2021/10	978-4-585-32009-8	¥10,450	¥8,360	日本史（前近代）・歴史・研究書	
40	室町文化の座標軸—遣明船時代の列島と文事	芳澤元 編	2021/10	978-4-585-32011-1	¥10,780	¥8,624	日本史（前近代）・歴史・研究書	
41	古典は遺産か？ 日本文学におけるテキスト遺産の利用と再創造 〈アジア遊	Edoardo GERLINI・河野貴美子 編	2021/10	978-4-585-32507-9	¥3,080	¥2,464	日本古典文学・文学・研究書	
42	英国初期印刷本研究への誘い—書誌学から文学・社会・歴史研究へ	向井剛 著	2021/10	978-4-585-32012-8	¥6,600	¥5,280	世界史・歴史・研究書	
43	近代日本語教科書語彙索引	伊藤孝行 編	2021/10	978-4-585-38002-3	¥8,800	¥7,040	日本語・言語・研究書	
44	従軍日記と報道挿絵が伝える庶民たちの日露戦争	西川武臣 著	2021/10	978-4-585-32008-1	¥4,180	¥3,344	日本史（近現代）・歴史・研究書	
45	資料論がひらく軍記・合戦図の世界—理文融合型資料論と史学・文学の交差 〈アジア遊学〉	井上泰至 編	2021/10	978-4-585-32508-6	¥3,520	¥2,816	日本史（前近代）・歴史・研究書	
46	首里城を解く—文化財継承のための礎を築く	高良倉吉 監修／島村幸一 編	2021/09	978-4-585-32001-2	¥4,180	¥3,344	日本史（前近代）・歴史・研究書	
47	アヘンからよむアジア史 〈アジア遊学〉	内田知行・権寧俊 編	2021/09	978-4-585-32506-2	¥3,080	¥2,464	東洋史・歴史・研究書	
48	戦国時代劇メディアの見方・つくり方—戦国イメージと時代考証	大石学・時代考証学会 編	2021/09	978-4-585-32006-7	¥3,520	¥2,816	人文・一般書	
49	説話の東アジア—『今昔物語集』を中心に	高陽 著	2021/09	978-4-585-39004-6	¥13,200	¥10,560	日本古典文学・文学・研究書	
50	怪異学講義—王権・信仰・いとなみ	東アジア怪異学会 編	2021/09	978-4-585-32007-4	¥3,520	¥2,816	哲学・宗教・民俗・研究書	
51	近世の村と百姓	渡辺尚志 著	2021/08	978-4-585-32002-9	¥10,780	¥8,624	日本史（前近代）・歴史・研究書	
52	中世武家領主の世界—現地と文献・モノから探る	田中大喜 編	2021/08	978-4-585-32003-6	¥4,180	¥3,344	日本史（前近代）・歴史・研究書	
53	古建築調査ハンドブック	山岸常人・岸泰子・登谷伸宏 著	2021/08	978-4-585-35000-2	¥1,540	¥1,232	人文・一般書	
54	書物のなかの近世国家—東アジア「一統志」の時代 〈アジア遊学〉	小二田章・高井康典行・吉野正史 編	2021/08	978-4-585-32505-5	¥3,300	¥2,640	東洋史・歴史・研究書	
55	日本古代の仏教者と山林修行	小林崇仁 著	2021/08	978-4-585-31003-7	¥13,200	¥10,560	哲学・宗教・民俗・研究書	
56	古文書研究 第91号	日本古文書学会 編	2021/07	978-4-585-32401-0	¥4,180	¥3,344	日本史（前近代）・歴史・研究書	
57	もう一度読みたい日本の古典文学	三宅晶子 編	2021/07	978-4-585-39001-5	¥2,640	¥2,112	文芸・一般書	
58	交錯する宗教と民族—交流と衝突の比較史 〈アジア遊学〉	鹿毛敏夫 編	2021/07	978-4-585-32503-1	¥3,080	¥2,464	日本史（前近代）・歴史・研究書	
59	谷崎潤一郎 美と生命の間	柴田勝二 著	2021/07	978-4-585-39003-9	¥3,960	¥3,168	日本近現代文学・文学・研究書	
60	杉田玄白と江戸の蘭学塾—「天真楼」塾とその門流	片桐一男 著	2021/07	978-4-585-32004-3	¥7,700	¥6,160	日本史（前近代）・歴史・研究書	
61	史料が語る東インド航路—移動がうみだす接触領域 〈アジア遊学〉	水井万里子・大澤広晃・杉浦未樹・吉田信・ 伏見岳志 編	2021/07	978-4-585-32504-8	¥3,080	¥2,464	世界史・歴史・研究書	
62	中世寺院の仏法と社会	永村真 編	2021/06	978-4-585-31001-3	¥13,200	¥10,560	哲学・宗教・民俗・研究書	
63	創られた由緒—近世大和国諸社と在地神道家	向村九音 著	2021/06	978-4-585-31002-0	¥8,800	¥7,040	哲学・宗教・民俗・研究書	
64	書物・印刷・本屋—日中韓をめぐる本の文化史	藤本幸夫 編	2021/06	978-4-585-30002-1	¥17,600	¥14,080	日本史（前近代）・歴史・研究書	
65	元朝の歴史—モンゴル帝国期の東ユーラシア 〈アジア遊学〉	櫻井智美・飯山知保・森田憲司・渡辺健哉	2021/06	978-4-585-32502-4	¥3,520	¥2,816	東洋史・歴史・研究書	
66	鉄幹晶子全集 別巻8—拾遺篇 書誌・年譜 〈鉄幹晶子全集〉	逸見久美ほか 編	2021/05	978-4-585-01093-7	¥9,900	¥7,920	日本近現代文学・文学・研究書	
67	大宅壮一文庫解体新書—雑誌図書館の全貌とその研究活用	阪本博志 編	2021/05	978-4-585-30001-4	¥3,850	¥3,080	社会科学・研究書	
68	新しい産業創造へ 〈デジタルアーカイブ・ペーシックス〉	時実象一 監修／久永一郎 責任編集	2021/05	978-4-585-20285-1	¥2,750	¥2,200	図書館学・研究書	

勉誠出版 新刊・近刊書籍リスト（2021・2022年刊行）

No.	書名	著者名	刊行年月	ISBN	定価（税込）	割引価格（税込）	分野	注文数
69	ビジュアル資料でたどる 文豪たちの東京（オンデマンド版）	日本近代文学館 編	2021/05	978-4-585-89163-5	¥3,080	¥2,464	日本近現代文学・文学・研究書	
70	ベトナム語空間ダイクシスとその展開―指示詞から文末詞・感動詞へ	安達真弓 著	2021/05	978-4-585-38001-6	¥11,000	¥8,800	外国語・言語・研究書	
71	三島由紀夫と日本国憲法	藤野博 著	2021/05	978-4-585-39002-2	¥3,300	¥2,640	文芸・一般書	
72	パブリック・ヒストリー入門（オンデマンド版）―開かれた歴史学への挑戦	菅豊・北條勝貴 編	2021/05	978-4-585-82254-7	¥5,280	¥4,224	日本史（近現代）・歴史・研究書	
73	変化する社会とともに歩む学校図書館 〈ライブラリーぶっくす〉	野口武悟 著	2021/04	978-4-585-20081-9	¥2,420	¥1,936	図書館学・研究書	
74	杜甫研究年報 第四号 〈杜甫研究年報〉	日本杜甫学会 編	2021/04	978-4-585-39444-0	¥2,200	¥1,760	東洋文学・文学・研究書	
75	改訂新版 中国学入門（オンデマンド版）―中国古典を学ぶための13章	二松學舎大学文学部中国文学科 編	2021/04	978-4-585-80056-9	¥1,760	¥1,408	入門書・一般書	
76	江戸川乱歩大事典	落合教幸・阪本博志・藤井淑禎・渡辺憲司	2021/03	978-4-585-20080-2	¥13,200	¥10,560	辞・事典・研究書	
77	日本の図書館建築―建築からプロジェクトへ	五十嵐太郎・李明喜 編	2021/03	978-4-585-20074-1	¥3,850	¥3,080	図書館学・研究書	
78	東アジアの歌と文字 〈アジア遊学〉	真下厚・遠藤耕太郎・波照間永吉 編	2021/03	978-4-585-32500-0	¥3,080	¥2,464	日本古典文学・文学・研究書	
79	土地の記憶から読み解く早稲田―江戸・東京のなかの小宇宙	ローザ・カーロリ 著／大内紀彦、フィリップ・ドルネッティ 訳	2021/03	978-4-585-22299-6	¥2,970	¥2,376	人文・一般書	
80	ささえあう図書館（オンデマンド版）―「社会装置」としての新たなモデルと役割 〈ライブラリーぶっくす〉	青柳英治 編著／岡本真 監修	2021/03	978-4-585-90039-9	¥1,980	¥1,584	図書館学・研究書	
81	パリ・ノートル＝ダム大聖堂の伝統と再生―歴史・信仰・空間から考える	坂野正則 編	2021/03	978-4-585-31000-6	¥8,800	¥7,040	哲学・宗教・民俗・研究書	
82	東アジアにおける知の往還 〈アジア遊学〉	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館・高麗大学校グローバル日本研究院 共編	2021/03	978-4-585-32501-7	¥3,080	¥2,464	日本古典文学・文学・研究書	
83	勤番武士の江戸滞在記―国枝外右馬江戸詰中日記	岩淵令治 編	2021/03	978-4-585-32000-5	¥11,000	¥8,800	日本史（前近代）・歴史・研究書	
84	日本語文字論の挑戦―表記・文字・文献を考えるための17章	加藤重広・岡端裕剛 編	2021/03	978-4-585-38000-9	¥7,700	¥6,160	日本語・言語・研究書	
85	物語文学の諸相と展開	中野幸一 著	2021/03	978-4-585-39000-8	¥13,200	¥10,560	日本古典文学・文学・研究書	
86	渤海の古城と国際交流	清水信行・鈴木靖民 編	2021/02	978-4-585-22289-7	¥15,400	¥12,320	東洋史・歴史・研究書	
87	韓国・朝鮮説話学の形成と展開	金廣植 著	2021/02	978-4-585-29201-2	¥12,100	¥9,680	東洋文学・文学・研究書	
88	鷹狩の日本史	福田千鶴・武井弘一 編	2021/02	978-4-585-22297-2	¥4,180	¥3,344	日本史（前近代）・歴史・研究書	
89	真田幸弘点取百韻 翻刻と解題	玉城司・小幡伍 編著	2021/02	978-4-585-29204-3	¥9,900	¥7,920	日本古典文学・文学・研究書	
90	増補改訂新版 日本中世史入門―論文を書くこう	秋山哲雄・田中大喜・野口華世 編	2021/02	978-4-585-22280-4	¥4,180	¥3,344	日本史（前近代）・歴史・研究書	
91	戦国合戦図屏風の歴史学	高橋修 著	2021/02	978-4-585-22301-6	¥9,900	¥7,920	日本史（前近代）・歴史・研究書	
92	コーパスと近代日本語書き言葉の一人称代名詞の研究	近藤明日子 著	2021/02	978-4-585-28052-1	¥9,350	¥7,480	日本語・言語・研究書	
93	中世の博多とアジア	伊藤幸司 著	2021/02	978-4-585-22300-9	¥10,450	¥8,360	日本史（前近代）・歴史・研究書	
94	観相の文化史	相田満 著	2021/02	978-4-585-29203-6	¥9,900	¥7,920	日本古典文学・文学・研究書	
95	明治の一発屋芸人たち―珍芸四天王と民衆世界	永嶺重敏 著	2021/01	978-4-585-27058-4	¥3,850	¥3,080	美術・音楽・芸能・研究書	
96	絶滅危惧種を喰らう	秋道智彌・岩崎望 編	2021/01	978-4-585-24014-3	¥3,520	¥2,816	自然科学・研究書	
97	和漢朗詠集とその享受 増訂版	三木雅博 著	2021/01	978-4-585-29202-9	¥16,500	¥13,200	日本古典文学・文学・研究書	
98	メソアメリカ文明セミナー	伊藤伸幸 監修／嘉幡茂・村上達也 編	2021/01	978-4-585-22296-5	¥5,500	¥4,400	世界史・歴史・研究書	
99	決定版 南京戦史資料集	偕行社 編	2021/01	978-4-585-22294-1	¥27,500	¥22,000	日本史（近現代）・歴史・研究書	
100	古文書への招待	日本古文書学会 編	2021/01	978-4-585-22277-4	¥3,300	¥2,640	人文・一般書	
101	大嘗祭―隠された古層	工藤隆・岡部隆志・遠藤耕太郎 編	2021/01	978-4-585-21057-3	¥4,180	¥3,344	哲学・宗教・民俗・研究書	

論究 日本近代語 第2集

日本近代語研究会 [編]

広義の日本近代語における歴史と構造を、
文字、文法、語彙といった
日本語学の観点から詳細に分析した、
日本文学、日本史学、日本語教育学、
表現論などの分野にも資する論文集。

日本近代語研究会

(にほんきんだいごけんきゅうかい)

1982年に「青年近代語研究会」として発足した(1984年1月から「近代語研究会」、2011年5月から現在の名称)、広い意味での近代語(室町時代以降の日本語)に関する研究者の集まり。年十回の研究発表会および『論究日本近代語』刊行の事業を行う。

定価 16,500 円(本体価格 15,000 円)

A5判上製カバー装・368頁
ISBN978-4-585-28522-6 C3081
2022年3月刊行

【好評既刊】

論究 日本近代語 第1集

日本近代語研究会 [編]

定価 16,500 円(本体価格 15,000 円)

A5判上製カバー装・424頁
ISBN978-4-585-28521-2 C3081
2020年3月刊行

第2集【目次】

キリシタン版『サントスの御作業』の「言葉の和らげ」の編纂背景について
——巻1・巻2間の偏りに注目して——■中野 遙

用例翻訳の疎密に見るキリシタン日本語文典の性格■黒川 茉莉
『虎明本狂言』と『狂言六義』における行為要求表現の対照■八坂 尚美
格助詞「ガ」の用法拡大の様相
——17世紀から明治大正期にかけて——■山田 昌裕

メテとユンデの語誌
——ミギノテ・ヒダリノテ・周辺語との関わりを中心に——■木川 あづさ

『波留麻和解』に含まれる出現時期の早い訳語■櫻井 豪人

外国資料に見える日本語

——『ドゥーフ・ハルマ』の「闖入ル、」について——■浅野 敏彦

『英和对訳袖珍辞書』における宋朝体の漢字の考察■三好 彰

聖書翻訳におけるヘブライ語動詞連鎖の訳出

——「明治元訳」を中心に——■遠藤 佳那子・高橋 洋成

『佳人之奇遇』の語彙■田貝 和子

稿本『言海』にみられる同音異義語の扱い■小野 春菜

『新式いろは節用辞典』の「漢名」■今野 真二

犬養毅の読み方をめぐる『痴遊雑誌』誌上の論争について

——つよし・つよき・キ・たけし・たけき・しのぶ——■三浦 直人

明治大正期『読売新聞』における「タ」の推移

——文章の種類の違いという観点から——■ヤロシュ島田 むつみ

近代日本語の省略型行為要求表現の調査■陳 慧玲

近現代における副詞の仮名表記化■高橋 雄太

近代女性書簡文口語体化の契機と過程■茗荷 円

〈付帯状況〉を表す「形容詞+まゝ」の史的展開■菊池 そのみ

丁寧体過去形式「～ましたです」の動向

——「国会会議録検索システム」を例として——■神作 晋一

日本語学習者と母語話者における

補助動詞「てもらう／ていただく」の使用実態■木下 謙朗

否定程度副詞の成立

——「1ミリも～ない」を事例として——■櫛橋 比早子

自動詞・受身・可能・自発

——自動詞的表現のパラダイグマティックな体系——■志波 彩子

近代語と近世語の境目、近代語と現代語の境目

——漢字政策を軸として——■小野 正弘

索引／執筆者一覧

編集後記■編集委員会

書 名	部 数
論究 日本近代語 第2集	定価16,500円(本体価格15,000円) A5判上製カバー装・368頁 2022年3月刊行 ISBN978-4-585-28522-6 C3081
日本近代語研究会 [編]	部
ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)	

地域文化の可能性

木部暢子 [編]

定価 2,970 円／本体価格 2,700 円

A5判並製カバー装
224頁+カラー口絵16頁
ISBN978-4-585-32015-9 C1020
2022年3月刊行

地域の文化を守り、継承し、活用していくために――

現代社会はこれまでに経験したことのないさまざまな問題に直面している。

とりわけ、地域社会の変貌や大規模災害により多様性が急速に失われつつあるなか、

私たちは過去の文化の多様な姿とその蓄積から

何を導き出し、未来の地域社会をどのようなものとして構想すべきか。

身近な地域文化を対象として、そこに生み出され、受け継がれてきた知恵の数々や努力の軌跡に光を当て、

民俗学、文化人類学、言語学、保存科学、歴史学、自然環境学等の諸分野から

地域文化の再評価や復興にアプローチする。

【目次】

はじめに ■小池淳一

第1章 地域を見つめ、つなげる――地域文化資源の「発見」と「活用」 ■小池淳一

第2章 地域資料をめぐるひとびと ■丹羽謙治

第3章 奄美の文化資源 ■桑原季雄

第4章 ことばと地域文化 ■木部暢子

第5章 学生が取り組む地域歴史遺産の保全と活用 ■添田仁

第6章 自然資本を活かした地域の可能性 ■中静透

第7章 災害支援から考える地域文化と博物館 ――地域文化の「再発見」と「保存・活用」―― ■日高真吾

第8章 原子力災害被災地域における民間資料の保存と活用 ■渡辺浩一

執筆者一覧

索引



【編者プロフィール】

木部暢子 (きべのぶこ)

国立国語研究所特任教授。専門は日本語学。研究テーマは日本の方言、音韻・音声、アクセント。

著書に『日本語アクセント入門』（共著、三省堂、2012年）、『そうだったんだ日本語 ジャっで方言なおもしろか』（岩波書店、2013年）、『方言学入門』（共編著、三省堂、2013年）、論文に「消えゆく言語・方言を守るには」（『國學院雑誌』119-11、2018年）などがある。

書名	部数
地域文化の可能性	部
木部暢子 [編]	
ご送付先ご住所（通信欄）	

定価 2,970 円／本体価格 2,700 円

A5判・並製カバー装・224頁+カラー口絵16頁
2022年3月刊行
ISBN978-4-585-32015-9 C1020

ことば・ほとけ・凶像の

交響 法会・儀礼とアーカイヴ

近本謙介【編】

【目次】

カラー口絵

緒言◎近本謙介

第一部 ことばの響き

中世日本の唱導におけるほとけとことば——説経師の宗教テキスト・アーカイヴス◎阿部泰郎

信貴山と中世聖徳太子伝◎猪瀬千尋

河内源氏の供養と鎌倉幕府の成立——安居院流唱導の表白を題材として◎山野龍太郎

アーカイヴとしての『扶桑略記』◎三好俊徳

蒙書『上大人』・『土土由山水』と禅師語録における運用について◎任 占鵬

『維摩経』をめぐる法会・文芸・芸能——『春日権現験記絵』を視座として◎近本謙介

第二部 ほとけの響き

浄土寺浄土堂の造形と思想◎富島義幸

宣陽門院の宗教空間におけるほとけとことば

——東寺西院御影堂の中世的発展と貞慶の『舍利講式』をめぐる◎阿部美香

儀礼空間に託された信仰のかたち——高野山大伝法院本堂を中心として◎郭 佳寧

コラム・『華嚴経』を見ること、聞くこと、飲み込むこと

——論義における中世僧侶の教理意識とその周辺◎野呂 靖

北条時頼の臨終儀礼再考——俊仍・泉涌寺僧請来の宋代仏教儀礼・作法の視点から◎西谷 功

通受の背景◎大谷由香

第三部 凶像の響き

古代・中世仏教儀礼における造形の役割——行儀・凶像・テキスト◎泉 武夫

新出の列女伝図・列士伝図について——楚平伯鳳図、聶政図の断片◎黒田 彰

十王信仰初期の変容と唱導◎荒見泰史

神奈川県小田原市総世寺所蔵の十王二使者図について◎橋本遼太

立川流『阿字観』とその伝本

——仁和寺蔵『五智蔵秘抄』の後半部を伝える聖教をめぐる◎海野圭介

文観房弘真が織りなしたテキストの地平

——『御遺告七箇大事』と『三尊合行法』◎ラポー・ガエタン

称名寺素尊本神祇書一結と神道灌頂◎高橋悠介

第四部 アーカイヴとの共鳴

鎮護国家の仏教と列島の景観——仏法・王法相依の儀礼と地域統治◎松尾恒一

民俗社会の信仰と知識——奥三河宗教文献研究の現在◎松山由布子

コラム・『男ノ心』は何と同じか——九華山地蔵寺所蔵文献から◎山崎 淳

史料紹介・壬辰請援第一陣の記録——柳夢鼎の燕行録『壬辰赴京日記』◎程 永超

あとがき◎近本謙介

人びとの祈りのかたちを表す法会や儀礼は、ことば・ほとけ・凶像が統合的に機能する空間のうちに執行されてきた。唱導や文芸のことば、仏像彫刻やそれを荘厳する寺院空間、凶像や絵画、さらには宗教空間で執り行われる法会・儀礼の次第や所作、それらを支える教理・教学——諸種の要素の響き合いにより営まれた法会・儀礼の実際を、寺院に伝持されてきたアーカイヴを紐解くことで明らかにする。

領域横断的・複合的な議論と方法論を示す

四部二十三編の論考が奏でる法会・儀礼学の最新機軸。

定価 二二、一〇〇円（税込）

（本体 二一、〇〇〇円）

B5判上製カバー装

カラー口絵一六頁＋本文五二八頁

二〇二二年三月刊行

ISBN978-4-585-31009-9 C3015

【編者紹介】

近本謙介（ちかもと・けんすけ）一九六四年生まれ。名古屋大学文学研究科教授。専門は中世宗教文芸。著書に『春日権現験記絵注解』『神戸説話研究会編 和泉書院、二〇〇五年・二〇一四年改訂重版』『天野山金剛寺善本叢刊第一期・第二巻「因縁教化」共編著、勉誠出版、二〇一七年』『玄奘三蔵 新たな玄奘像をもとめて（共編著、勉誠出版、二〇二一年）』『宗教遺産学の創成』編著、勉誠出版、二〇二二年などがある。

書名	部数
ことば・ほとけ・凶像の交響 法会・儀礼とアーカイヴ 近本謙介【編】	部
ご注文先ご住所（通信欄）	

定価 13,200円（税込）・本体12,000円
B5判・上製カバー装・カラー口絵16頁・本文528頁
2022年3月刊行
ISBN978-4-585-31009-9 C3015

島村幸一・小此木敏明・屋良健一郎

著

訳注 琉球文学

『佐銘川大ぬし由来記』

『周蘭両姓記事』『思出草』

『浮縄雅文集』『雨夜物語』

『永峰和文』

さながわおおぬしゆらいき
しゅうりんりょうせいきじ おもいでくさ
うきなわがぶんしゅう あまよものがたり
ながみねわぶん

文化の結節点たる琉球においては、琉球語のみならず漢語・和語による諸種の文学作品が華ひらいた。それらは、琉球という場のもつ広がりを示す貴重な歴史資料でもある。

十八世紀前半期は、琉球王府による歴史資料の編纂事業が集中し、文芸が盛んな時代であった。氏族の歴史叙述が本格的に始まり、正史や地誌の編纂も行われた。

家譜と正史、地誌の叙述により、物語としての歴史が作られていく。

また、それと並行して、御取合(交際・交流)の文学としての和文学も展開した。

本書では、そのような時代に成立した6編の作品を取り上げ、

校訂本文に注釈・現代語訳を付し、解説を加える。

琉球をどのように叙述し、どう認識させようとしているのか。

琉球の歴史や地誌をどのような枠組みで描こうとしているのか。

琉球の歴史伝承叙述の意味づけを考える上で重要な作品を読み解く。

【著者プロフィール】

島村幸一(しまむら・こういち)

立正大学文学部教授。専門は琉球文学・琉球文化史。

著書に『おもろさうし』と琉球文学(笠間書院、二〇一〇年)、『琉球文学の歴史叙述』(勉誠出版、二〇一五年)、『おもろさうし研究』(角川文化振興財団、二〇一七年)、『琉球船漂着者の「開書世界」』(大島筆記・翻刻と研究) (勉誠出版、二〇二〇年)、『首里城を解く』(文化財継承のための礎を築く) (編著、勉誠出版、二〇二二年)などがある。

小此木敏明(おこのぎ・としあき)

立正大学古書資料館専門員・立正大学非常勤講師。専門は中世・近世文学。

著書に『立正大学蔵書の歴史 寄贈本のルーツをたどる』(近世駿河から図書館へ増補改訂版) (立正大学出版部、二〇一九年)、『論文に「中山世鑑」における依拠資料』(『四書大全』・『綱鑑』・『太平記』について) (『説話文学研究』47・二〇二二年)、『中山世鑑』の伝本について(内閣文庫を中心に) (小峯和明監修・目黒将史編『資料学の現在(シリーズ 日本文学の展望を拓く5)』(笠間書院、二〇一七年)などがある。

屋良健一郎(やら・けんいちろう)

名桜大学国際学群上級准教授。専門は琉球史。

著書に『琉球史料の船出』(共編、勉誠出版、二〇一七年)、『論文に「近世琉球の日本文化受容」』(清水光明編『近世化論と日本「アジア」遊学185』(勉誠出版、二〇一五年)、『近世における琉球人の日本漂着』(島村幸一編『琉球船漂着者の「開書世界」』(大島筆記・翻刻と研究) (勉誠出版、二〇二〇年)などがある。

6作品全点
初の訳注

定価 12,100円・(本体価格11,000円)

A5判上製・496頁
ISBN 978-4-585-39009-1 C3095
2022年3月刊行

【目次】

序文
凡例

佐銘川大ぬし由来記

解説／本文／現代語訳／注釈

周蘭両姓記事

解説／本文／現代語訳／注釈

思出草

解説／本文／現代語訳／注釈

浮縄雅文集

解説／本文／現代語訳／注釈

雨夜物語／永峰和文

解説／本文／現代語訳／注釈

参考地図

参考文献一覧

あとがき

和歌初句索引

書名	部数
訳注 琉球文学 『佐銘川大ぬし由来記』『周蘭両姓記事』『思出草』 『浮縄雅文集』『雨夜物語』『永峰和文』 島村幸一〔編〕	部
ご注文先住所・氏名 (通信欄)	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

飛鳥井家歌学の

定価 11,100 円(税込)
(本体 11,000 円)
A5判上製カバー装・五二八頁
二〇二二年一月刊行
ISBN978-4-585-39006-0 C3095

形成と

展開

日高愛子【著】

歌と蹴鞠、その両道を家業とし、公武、さらには中央と地方を結ぶネットワークを構築、歌壇の中心で歌学を継承し、近代までその伝統を繋ぎとめようとした歌道家、飛鳥井家。彼らが歌道家として生きた室町期から明治維新时期において、歌学はいかなる意味を有していたのか。また、歌道家はいかにして時代や社会を生きぬいていったのか。飛鳥井家の系譜を紐解くことで、歌を守り、伝えていく思想と精神の展開を明らかにする画期的著作。

【著者紹介】

日高愛子(ひたか・あいこ)
一九八〇年生まれ。熊本大学文学部文学科卒業、九州大学大学院人文科学府博士後期課程単位取得満期退学。博士(文学)。現在、熊本大学大学院人文社会科学部准教授。専門は和歌文学。論文に、「実隆五十首の成立と道堅」『和歌文学研究』二一〇、二〇一五年、「飛鳥井雅康の定数歌とその晩年」『西日本国語国文学』二、二〇一五年)などがある。

【目次】

論考篇

はじめに

第一章 飛鳥井流秘伝の形成

第一節 雅俊の歌道伝授と秘伝／第二節 雅康の「飛鳥井流切紙口伝」

第二章 『古今栄雅抄』再編をめぐる問題

第一節 一条兼良の言説と良鎮

第二節 『歌林良材集』『伊勢物語愚見抄』の引用

第三章 『蓮心院殿説古今集注』諸本の性格

第一節 『僻案抄』と兼良説の追補／第二節 為和本の改変

第四章 雅康の定数歌にみる嫡庶の問題

第一節 晩年の定数歌／第二節 歌・蹴鞠道を詠む

第五章 近世前期における歌学の継承と相伝

第一節 雅章と後水尾院周辺／第二節 雅豊の作法書にみる歌学継承

第六章 近世前期における地方歌壇との関わり

第一節 雅章と鍋島直能／第二節 「飛鳥井雅俊卿五十首」の伝来

第七章 近世後期の堂上派地方歌壇の展開

第一節 垂水島津家の歌壇活動／第二節 雅光と伊集院兼愷

第八章 幕末期の古今伝受

第一節 雅典の伝受記録にみる切紙四通／第二節 御所伝受の終焉

おわりに

資料篇

凡例

京都府立京都学・歴史館蔵『古今集注』(貴一四五三)
徳島県立図書館山口文庫蔵『古今和歌集伝授』

(九一一・一三―アス―山口文庫)

宮内庁書陵部図書寮文庫蔵『飛鳥井雅親卿口伝』(四五二―一『片玉集』所収)

国立公文書館内閣文庫蔵『飛鳥井家懐紙之法』(一九八―二〇三)

宮内庁書陵部図書寮文庫蔵『和歌樵談』(鷹―二四一)

初出一覧

索引

書 名	部 数
飛鳥井家歌学の形成と展開 日高愛子【著】	部
ご送付先ご住所（通信欄）	

定価 12,100 円(税込)・本体 11,000 円
A5判・上製カバー装・528頁
2022年1月刊行
ISBN978-4-585-39006-0 C3095

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

福州版一切経調査研究会

編

宋版一切経（福州版） 調査提要

本源寺蔵の調査を通して

東アジアの仏教伝播、そして、

木版印刷の文化伝播を考える上で、各地に襲蔵される「宋版一切経」は避けては通ることのできない重要な文化遺産である。

近年、書誌学的・目録学的研究の進展を見せる

「宋版一切経」の中でも「福州版」について、実際の調査の中から得られた、

特徴的な装訂・版式、

補刻の様相や印記等に関する知見を提示。

さらには、関連論文、附録を収載した、

初めての「福州版一切経」調査ハンドブック。

【福州版一切経調査研究会（五十音順）】

上杉智英 京都国立博物館研究員
落合俊典 国際仏教学大学院大学教授
高橋悠介 慶應義塾大学附属研究所道文庫准教授
中村一紀 三の丸尚蔵館調査補佐員
野沢佳美 立正大学文学部教授
前島信也 国際仏教学大学院大学日本古写経研究所研究員
牧野和夫 実践女子大学名誉教授、国際仏教学大学院大学日本古写経研究所特別研究員
南 宏信 佛教大学講師
矢口郁子 開成中学・高等学校教諭
(故) 渡辺信和 元同朋大学仏教文化研究所研究室長

【目次】

- はじめに 大蔵経調査の必要性
- 一 印刷漢文大蔵経の簡紹・説明と福州版大蔵経の問題点
 - 二 福州版大蔵経——『東禪寺版（一切経）』『開元寺版（一切経）』
 - 三 調査——その現場と調査など
 - 四 書物としての宋版一切経——書物各部の名称・版式としての名称など
- A 福州版の装訂について
- B 調査項目の解説と記入の実例・注意点
- ① 千字文番号と函収納の順序——調書余白の利用
 - ② 調査年月日と調査者名の記入
 - ③ 「帙」表紙——⑤ 寸法と併せて
 - ④ 「外題」
 - ⑤ 存「完存・欠（前・途中・後）断簡・殆ど損傷」
 - ⑥ 刊・写
 - ⑦ 見返し・共紙・その他
 - ⑧ 印記
 - ⑨ 題記——巻首尾の題記・版心などの施財刊語など
 - ⑩ 内題
 - ⑪ 版心——附、印造記・板数・面数・界高・版心（柱）位置を併せて
 - ⑫ 尾題——刊行（場）列位・（尾題記）
 - ⑬ 印面
 - ⑭ 五 応用篇
 - ⑮ A 面数と厚さ——五面一紙混入のことなど——
 - ⑯ B 題記・入れ木（埋め木）
 - ⑰ C 混合帖など

論考

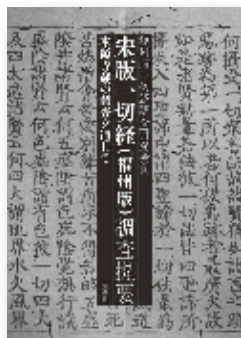
宋版大蔵経と女性刻工……野沢佳美
書陵部蔵福州版一切経の本文欠落巻について……中村一紀
宋版一切経補刻葉に見える「下州千葉寺了行」の周辺……牧野和夫

附録

題記一覧——本源寺蔵を軸に——
主要参考文献一覧（福州版一切経関連に限る）

用語索引

あとがき……牧野和夫
執筆者一覧



定価 **7,150** 円・(本体価格6,500円)
A5判並製・304頁
ISBN 978-4-585-31010-5 C3015
2022年3月刊行

書名	部数
宋版一切経(福州版)調査提要 本源寺蔵の調査を通して 福州版一切経調査研究会 [編]	定価 7,150 円(本体価格6,500円) A5判並製・304頁 ISBN 978-4-585-31010-5 C3015 2022年3月刊行
ご送付先ご住所・氏名（通信欄）	

幕末以降所在不明であつた
最古級の『論語』注釈写本が再発見された――
慶應義塾大学図書館蔵『論語疏』巻六である。

慶應義塾図書館蔵

論語疏 卷六

ろんごそまきろく

慶應義塾大学

附属研究所斯道文庫蔵

論語義疏

ろんごぎそ

影印と解題研究

慶應義塾大学論語疏研究会〔編〕



国宝級の
最古写本の全編を
原寸原色にて
提供する決定版！

本体 一八、〇〇〇円（＋税）

A4判・上製函入・四八〇頁

二〇二一年一〇月刊行

ISBN978-4-585-31004-4 C3010

勉誠出版

論語義疏 卷六

論語義疏

影印と解題研究

本体18,000円(+税)
A4判・上製函入
480頁(カラー336頁)
2021年10月刊行
ISBN978-4-585-31004-4 C3010

ご送付先ご住所(通信欄)

ご注文部数

貴店番線印

勉誠出版

〒101-0061 千代田区神田三崎町2-18-4
TEL.03-5215-9021 FAX.03-5215-9025
Website=http://bensei.jp
Email=info@bensei.jp

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店、あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。

慶應義塾図書館蔵

論語義疏 卷六

〔論語〕子罕篇と郷党篇(通行本卷五)の、ほぼ全文を伝える中国写本。字体、字樣などの書写相や、装訂、紙質など書籍形態の比較検討から、原著成立から一〇〇年を経ない時期の写本と目され、最古級の伝本と位置付けられる。また、平安時代の日本の印記がありそれ以前に伝来した点にも価値がある。古代以来、朝廷周辺で秘藏された文献である様相も有する、日本漢学の淵源となった書籍として歴史的意義も備わる。

慶應義塾大学
附属研究所斯道文庫蔵

論語義疏

文明十九年書写。『論語』の室町期写本群の中でも、最も整った姿を備える伝本。室町期特有の略字体を有し、全編を通じて統一した訓点を施した特徴をもつ。また、慶應義塾図書館蔵『論語疏』卷六との対校によって、その本文の価値が確かめられることから、『論語』二十篇を完存する『義疏』室町写本群研究に大きく寄与する。

国宝級の最古写本の全編を 原寸原色にて提供する決定版！

東アジア漢字文化圏の古典として広く諸国・諸地域の文化・思想に大きく影響を与えた『論語』。二〇一七年、幕末以降所蔵不明であった最古級の『論語』注釈写本である『論語疏』が日本国内において再発見され、二〇二〇年には展示公開、広く報道がなされた。

慶應義塾大学図書館蔵『論語疏』卷六である。

同書は南北朝から隋時代(六〜七世紀初頭)における中国写本であり、『論語』およびその注釈として、さらには同時代の写本として類を見ない逸品である。本書では、同『論語疏』の全編をフルカラー原寸大で影印、初公開する。

さらには、室町期の写本群のなかでも、最も整った完本である、慶應義塾大学附属研究所斯道文庫蔵『論語義疏』(文明十九年書写大槻本)の全編もフルカラーで影印。斯界の第一線をリードする研究者による詳細な解題・翻刻・校勘記を備えた決定版。

【目次】

前言：佐藤道生

● 影印

慶應義塾大学図書館蔵 〔南北朝末隋〕写本『論語疏』卷六

慶應義塾大学附属研究所 斯道文庫蔵 文明十九年写本『論語義疏』

● 解題研究

慶應義塾大学図書館蔵 〔南北朝末隋〕写本『論語疏』卷六 解題：住吉朋彦

附 橋本経亮編『遠年紙譜』所収「皇侃義疏料紙」について：一戸渉

慶應義塾大学図書館蔵 〔南北朝末隋〕寫本『論語疏』卷六 翻印並に校記：種村和史

附 慶應義塾大学図書館蔵『論語疏』卷六 校記舉例 義疏の部：種村和史

慶應義塾大学図書館蔵 〔南北朝末隋〕写本『論語疏』卷六 清家文庫本校記：齋藤慎一郎

附 慶應義塾大学図書館蔵『論語疏』卷六の文献価値

——日本漢学研究資料としての特色：齋藤慎一郎

慶應義塾大学附属研究所 斯道文庫蔵 文明十九年写本『論語義疏』 解題：住吉朋彦

附 慶應義塾大学附属研究所 斯道文庫蔵 旧鈔『論語義疏』伝本解題：住吉朋彦

書物學

DBLJOLGY

19

古今東西の知の宝庫に分け入り、
読書の楽しさを満喫する！

定価 一、九八〇円(税込)
定価 一、八〇〇円(+税)
B5判並製・一二八頁(フルカラー)
二〇二二年二月刊行
ISBN978-4-585-30719-8 C1000

◎特集

紙のレンズから見た古典籍

古典籍や古文書に使用されている紙は、
いったいどのような製法により作られたものなのか。
先人たちは紙にどのような加工や工夫を凝らしてきたのか――。

旧来の書誌学・書物学的検討に加え、
高精細デジタルマイクロスコープや機械学習など、
最先端の技術を組み合わせて、
古典籍の世界を「紙」というレンズから探る！

◎特集もくじ

- ◎穀物澱粉添加による紙の改質…江南和幸
- ◎和紙のモルフオロジー解析…澤山茂
- ◎家の学問と写本にみる打紙加工…赤尾栄慶
- ◎源氏物語写本の打紙は何を語るか…横井孝
- ◎明融本源氏物語と打紙…上野英子
- ◎『修紫田舎源氏』の絶板と用紙…佐藤悟
- ◎『大清聖祖仁皇帝實録』の紙質…徐小潔
- ◎打紙再現試料から繊維の形状と表面の粗さを見る…大和あすか・鈴木七美
- ◎紙質観察画像のデータベース構築と自動分類に関する試み…中村寛
- ◎データ駆動型研究とマテリアル分析…山本和明

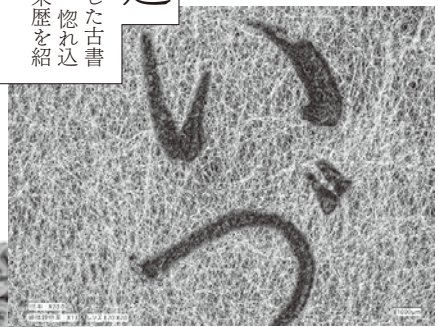
◎特別寄稿

御膳本草の周辺――それぞれの写本…横山學
熱帯季題と風土――台湾の俳句と郷土の創成…井田太郎
西洋古典建築書にみられる東向き図書館…吉川也志保

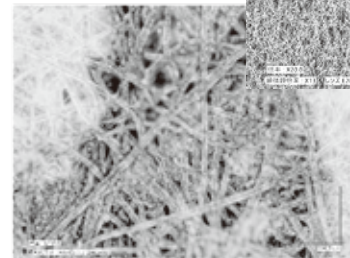
◎新連載

松朋堂 新収古書解題

二〇二〇年、あらたに開業した古書店「松朋堂」。店主が出会い、惚れ込んだ様々な古典籍の書誌・来歴を紹介する瞳目の新連載！



古典籍に
用いられた紙の
拡大画像



◎連載

〈新連載〉松朋堂新収古書解題…佐藤道生
書物の声を聞く―書誌学入門…佐々木孝浩
書籍はどう動いたのか―近代書籍流通史料の世界…磯部敦
西洋古書の遠近法…雪嶋宏一

書名	部数
〈書物学 19〉 紙のレンズから見た古典籍 編集部 [編]	部
ご送付先ご住所 (通信欄)	

ほんちょうもんずいしょう 本朝文粹抄 七

後藤昭雄 [著]

日本漢文の粹を集め、

平安期の時代思潮や美意識を知る上でも貴重な文献「本朝文粹」。

その漢文の世界の深遠へと誘う格好の入門書。

第七巻では、慶滋保胤、紀長谷雄による公的な文章、大江匡衡・藤原行成による書状の応酬、そして、源順による書序、大江朝綱の詩序など、全十一作品を収載、さらに作者略伝を付した。

【目次】

- 第一章 封事を上らしむる詔(慶滋保胤)——臣下の意見上奏を促す
第二章 第三皇子の元服を加ふる祝文(紀長谷雄)——親王の元服祝賀文
第三章 宇多法皇の封戸を停めんと請ふ書(紀長谷雄)——上皇から天皇への書状
第四章 貞観政要を返納する書状(大江匡衡)——文は人なり
第五章 大江匡衡書状への返書(藤原行成)
第六章 沙門敬公集の序(源順)——橘在列の詩文集の序
第七章 円城寺に遊ぶ詩の序(源英明)——道真の余薫
第八章 上州大王邸に「香乱れて花識り難し」を賦す詩の序(大江朝綱)——親王時代の村上天皇
第九章 菅丞相の廟に「籬菊残花有り」を賦す詩の序(源相規)——大宰府での詩宴
第十章 「紅葉は高窓の雨」を賦す詩の序(橘正通)——説話集へ
第十一章 民部大輔を申す奏状(橘直幹)——説話集から絵巻へ

作者略伝／本朝文粹作品表／あとがき／索引

後藤昭雄(こうとう・あきお)

大阪大学名誉教授。主要著書に、『平安朝漢文学論考』(校楓社、一九八一年。補訂版、勉誠出版、二〇〇五年)、『本朝文粹』共校注、新日本古典文学大系、岩波書店、一九九二年、『平安朝漢文学文献の研究』(吉川弘文館、一九九三年)、『日本古代漢文学与中国文学』(日本中国学文庫、中華書局、二〇〇六年)、『大江匡衡』(人物叢書、吉川弘文館、二〇〇六年)、『平安朝漢文学史論考』(勉誠出版、二〇一二年)、『本朝漢詩文資料論』(勉誠出版、二〇一二年)、『平安朝漢詩文の文体と語彙』(勉誠出版、二〇一七年)などがある。

定価 三、五二〇円・本体三、〇〇円

四六判並製カバー装・二一六頁
二〇二二年二月刊行

ISBN978-4-585-39511-9 C0095

第一期・全五巻好評発売中！

第一巻…978-4-585-05367-5 C0095 | 2006年12月刊行
第二巻…978-4-585-05407-8 C0095 | 2009年2月刊行
第三巻…978-4-585-29221-0 C0095 | 2014年7月刊行
第四巻…978-4-585-29222-7 C0095 | 2015年10月刊行
第五巻…978-4-585-29223-4 C0095 | 2018年8月刊行

定価 各巻 3,080円(税込)・本体2,800円

第六巻…978-4-585-29224-1 C0095 | 2018年8月刊行

第二期・既刊

定価 3,520円(税込)・本体3,200円

書名	部数	部数
本朝文粹抄 七 定価 3,520円(税込)・本体3,200円 四六判並製カバー装・216頁／2022年2月刊行 後藤昭雄 [著] ISBN978-4-585-39511-9 C0095		第六巻… 本朝文粹抄 六 定価 3,520円(税込)・本体3,200円 四六判上製カバー装・216頁 2020年2月刊行 ISBN978-4-585-29224-1 C0095
本朝文粹抄 第一期 (一～五巻) セット本体 14,000円	第一巻… 本朝文粹抄 978-4-585-05367-5 C0095 2006年12月 本体 2,800円	第二巻… 本朝文粹抄 二 978-4-585-05407-8 C0095 2009年2月 本体 2,800円
第三巻… 本朝文粹抄 三 978-4-585-29221-0 C0095 2014年7月 本体 2,800円	第四巻… 本朝文粹抄 四 978-4-585-29222-7 C0095 2015年10月 本体 2,800円	第五巻… 本朝文粹抄 五 978-4-585-29223-4 C0095 2018年8月 本体 2,800円

通信欄

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

近代日本語教科書 語彙索引

伊藤孝行 [編]

定価8,800円／本体価格8,000円

A5判並製・376頁

2021年10月刊行

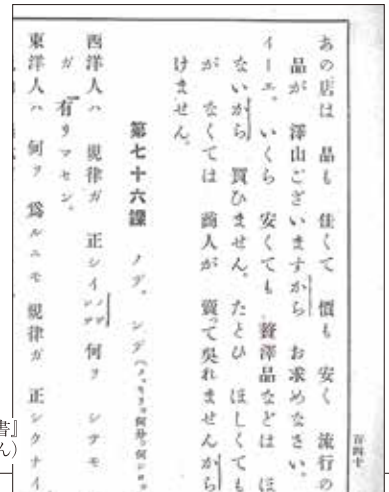
ISBN978-4-585-38002-3 C3081

近代日本語教科書には どのようなことばが取り上げられていたのか

明治期から戦中期にかけて日本国内外で刊行された日本語教科書は、刊行当時のことばが記録された「日本語史資料」として、また使用者のニーズを考慮しながら一定の規範となる日本語を映した「日本語教育史資料」として、日本語の歴史や教育の歴史を詳らかにする上で、看過することのできない重要な資料である。本書は、近代日本語教科書 10 種 15 冊の本文全文をテキスト化し、索引の見出し語として約 25,000 語を採用。

日本語史・日本語教育史をはじめとする諸分野研究に資する、
近代語資料の隙間を埋める一冊。

宏文学院(1906)『日本語教科書』
(本書には掲載しておりません)



【本書の特色】

- ▶明治期から戦中期までに刊行された日本語教科書10種15冊の本文全文をテキスト化し、それぞれの出現位置情報を明示。
- ◎収録資料
 - 金井保三(1904)『日語指南 壹』中国語母語話者向け
 - 金井保三(1905)『日語指南 貳』中国語母語話者向け
 - 宏文学院(1906)『日本語教科書 第一巻』中国語母語話者向け
 - 宏文学院(1906)『日本語教科書 第二巻』中国語母語話者向け
 - 宏文学院(1906)『日本語教科書 第三巻』中国語母語話者向け
 - 大宮貫三(1907)『日語活法』中国語母語話者向け
 - M. D. Berlitz(1919)『日本語教科書』英語母語話者向け
 - 東亜高等予備学校(1932)『日本語のはじめ一』中国語母語話者向け
 - 東亜高等予備学校(1932)『日本語のはじめ二』中国語母語話者向け
 - 東亜高等予備学校(1933)『日本語のはじめ三』中国語母語話者向け
 - 泉虎一(1938)『日暹会話便覧』タイ語母語話者向け
 - 三木栄(1940)『日泰会話』タイ語母語話者向け
 - モンコール・オンシクール(1941)『日泰会話』タイ語母語話者向け
 - 鉄道省国際観光局(1942)『日泰会話』タイ語母語話者向け
 - 国際文化振興会(1942)『NIPPONGO』タイ語母語話者向け
- ▶検索可能なテキストデータとしては未公開の資料群の語彙も検索可能。
- ▶複合語は後項部(後項語)からも調べることが可能。

【編者プロフィール】

伊藤孝行(いとう・たかゆき)

北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授。専門は国語学、日本語教育。

國學院大學大学院文学研究科博士課程後期修了。博士(文学)。タイ国立タマサート大学外国人専任講師、財団法人交流協会(現:公益財団法人日本台湾交流協会)日本語専門家、名桜大学講師・准教授・上級准教授、北海道大学留学生センター准教授を経て現在に至る。

194	【た】	タイク 【体育】
ソロエ 【編】	【01-1】 82	【02-2】 72
【01-1】 16	【02-3】 11, 68, 144, 149, 156, 157	タイクカイ 【体育】
ソロソロ 【徐々】	【03】 93	【02-1】 105
【02-2】 126	【04】 131	ダイイチ 【第一】
【03】 93	ソロソロ 【算盤】	【02-1】 119
【04】 131	【01-1】 145, 149	【02-3】 57, 63
ソロバン 【算盤】	【01-1】 145, 149	【03】 119, 155
【01-1】 145, 149	【02-2】 126	【04】 118
【02-2】 126	【03】 93	【05-3】 19
【03】 93	【04】 131	【06】 47, 72
【04】 131	【05-3】 19	【07】 99
【05-3】 19	【06】 47, 72	ダイイチ 【第一】
【06】 47, 72	【07】 99	【02-3】 157
【07】 99	【08】 53	ダイイチ 【第一】
【08】 53	【09】 53	【02-3】 157
【09】 53	【10】 190	ダイイチ 【第一】
【10】 190	【11】 111	【02-3】 157
【11】 111	【12】 127	ダイイチ 【第一】
【12】 127	【13】 127	【02-3】 157
【13】 127	【14】 127	ダイイチ 【第一】
【14】 127	【15】 127	【02-3】 157
【15】 127	【16】 127	ダイイチ 【第一】
【16】 127	【17】 127	【02-3】 157
【17】 127	【18】 127	ダイイチ 【第一】
【18】 127	【19】 127	【02-3】 157
【19】 127	【20】 127	ダイイチ 【第一】
【20】 127	【21】 127	【02-3】 157
【21】 127	【22】 127	ダイイチ 【第一】
【22】 127	【23】 127	【02-3】 157
【23】 127	【24】 127	ダイイチ 【第一】
【24】 127	【25】 127	【02-3】 157
【25】 127	【26】 127	ダイイチ 【第一】
【26】 127	【27】 127	【02-3】 157
【27】 127	【28】 127	ダイイチ 【第一】
【28】 127	【29】 127	【02-3】 157
【29】 127	【30】 127	ダイイチ 【第一】
【30】 127	【31】 127	【02-3】 157
【31】 127	【32】 127	ダイイチ 【第一】
【32】 127	【33】 127	【02-3】 157
【33】 127	【34】 127	ダイイチ 【第一】
【34】 127	【35】 127	【02-3】 157
【35】 127	【36】 127	ダイイチ 【第一】
【36】 127	【37】 127	【02-3】 157
【37】 127	【38】 127	ダイイチ 【第一】
【38】 127	【39】 127	【02-3】 157
【39】 127	【40】 127	ダイイチ 【第一】
【40】 127	【41】 127	【02-3】 157
【41】 127	【42】 127	ダイイチ 【第一】
【42】 127	【43】 127	【02-3】 157
【43】 127	【44】 127	ダイイチ 【第一】
【44】 127	【45】 127	【02-3】 157
【45】 127	【46】 127	ダイイチ 【第一】
【46】 127	【47】 127	【02-3】 157
【47】 127	【48】 127	ダイイチ 【第一】
【48】 127	【49】 127	【02-3】 157
【49】 127	【50】 127	ダイイチ 【第一】
【50】 127	【51】 127	【02-3】 157
【51】 127	【52】 127	ダイイチ 【第一】
【52】 127	【53】 127	【02-3】 157
【53】 127	【54】 127	ダイイチ 【第一】
【54】 127	【55】 127	【02-3】 157
【55】 127	【56】 127	ダイイチ 【第一】
【56】 127	【57】 127	【02-3】 157
【57】 127	【58】 127	ダイイチ 【第一】
【58】 127	【59】 127	【02-3】 157
【59】 127	【60】 127	ダイイチ 【第一】
【60】 127	【61】 127	【02-3】 157
【61】 127	【62】 127	ダイイチ 【第一】
【62】 127	【63】 127	【02-3】 157
【63】 127	【64】 127	ダイイチ 【第一】
【64】 127	【65】 127	【02-3】 157
【65】 127	【66】 127	ダイイチ 【第一】
【66】 127	【67】 127	【02-3】 157
【67】 127	【68】 127	ダイイチ 【第一】
【68】 127	【69】 127	【02-3】 157
【69】 127	【70】 127	ダイイチ 【第一】
【70】 127	【71】 127	【02-3】 157
【71】 127	【72】 127	ダイイチ 【第一】
【72】 127	【73】 127	【02-3】 157
【73】 127	【74】 127	ダイイチ 【第一】
【74】 127	【75】 127	【02-3】 157
【75】 127	【76】 127	ダイイチ 【第一】
【76】 127	【77】 127	【02-3】 157
【77】 127	【78】 127	ダイイチ 【第一】
【78】 127	【79】 127	【02-3】 157
【79】 127	【80】 127	ダイイチ 【第一】
【80】 127	【81】 127	【02-3】 157
【81】 127	【82】 127	ダイイチ 【第一】
【82】 127	【83】 127	【02-3】 157
【83】 127	【84】 127	ダイイチ 【第一】
【84】 127	【85】 127	【02-3】 157
【85】 127	【86】 127	ダイイチ 【第一】
【86】 127	【87】 127	【02-3】 157
【87】 127	【88】 127	ダイイチ 【第一】
【88】 127	【89】 127	【02-3】 157
【89】 127	【90】 127	ダイイチ 【第一】
【90】 127	【91】 127	【02-3】 157
【91】 127	【92】 127	ダイイチ 【第一】
【92】 127	【93】 127	【02-3】 157
【93】 127	【94】 127	ダイイチ 【第一】
【94】 127	【95】 127	【02-3】 157
【95】 127	【96】 127	ダイイチ 【第一】
【96】 127	【97】 127	【02-3】 157
【97】 127	【98】 127	ダイイチ 【第一】
【98】 127	【99】 127	【02-3】 157
【99】 127	【100】 127	ダイイチ 【第一】
【100】 127	【101】 127	【02-3】 157
【101】 127	【102】 127	ダイイチ 【第一】
【102】 127	【103】 127	【02-3】 157
【103】 127	【104】 127	ダイイチ 【第一】
【104】 127	【105】 127	【02-3】 157
【105】 127	【106】 127	ダイイチ 【第一】
【106】 127	【107】 127	【02-3】 157
【107】 127	【108】 127	ダイイチ 【第一】
【108】 127	【109】 127	【02-3】 157
【109】 127	【110】 127	ダイイチ 【第一】
【110】 127	【111】 127	【02-3】 157
【111】 127	【112】 127	ダイイチ 【第一】
【112】 127	【113】 127	【02-3】 157
【113】 127	【114】 127	ダイイチ 【第一】
【114】 127	【115】 127	【02-3】 157
【115】 127	【116】 127	ダイイチ 【第一】
【116】 127	【117】 127	【02-3】 157
【117】 127	【118】 127	ダイイチ 【第一】
【118】 127	【119】 127	【02-3】 157
【119】 127	【120】 127	ダイイチ 【第一】
【120】 127	【121】 127	【02-3】 157
【121】 127	【122】 127	ダイイチ 【第一】
【122】 127	【123】 127	【02-3】 157
【123】 127	【124】 127	ダイイチ 【第一】
【124】 127	【125】 127	【02-3】 157
【125】 127	【126】 127	ダイイチ 【第一】
【126】 127	【127】 127	【02-3】 157
【127】 127	【128】 127	ダイイチ 【第一】
【128】 127	【129】 127	【02-3】 157
【129】 127	【130】 127	ダイイチ 【第一】
【130】 127	【131】 127	【02-3】 157
【131】 127	【132】 127	ダイイチ 【第一】
【132】 127	【133】 127	【02-3】 157
【133】 127	【134】 127	ダイイチ 【第一】
【134】 127	【135】 127	【02-3】 157
【135】 127	【136】 127	ダイイチ 【第一】
【136】 127	【137】 127	【02-3】 157
【137】 127	【138】 127	ダイイチ 【第一】
【138】 127	【139】 127	【02-3】 157
【139】 127	【140】 127	ダイイチ 【第一】
【140】 127	【141】 127	【02-3】 157
【141】 127	【142】 127	ダイイチ 【第一】
【142】 127	【143】 127	【02-3】 157
【143】 127	【144】 127	ダイイチ 【第一】
【144】 127	【145】 127	【02-3】 157
【145】 127	【146】 127	ダイイチ 【第一】
【146】 127	【147】 127	【02-3】 157
【147】 127	【148】 127	ダイイチ 【第一】
【148】 127	【149】 127	【02-3】 157
【149】 127	【150】 127	ダイイチ 【第一】
【150】 127	【151】 127	【02-3】 157
【151】 127	【152】 127	ダイイチ 【第一】
【152】 127	【153】 127	【02-3】 157
【153】 127	【154】 127	ダイイチ 【第一】
【154】 127	【155】 127	【02-3】 157
【155】 127	【156】 127	ダイイチ 【第一】
【156】 127	【157】 127	【02-3】 157
【157】 127	【158】 127	ダイイチ 【第一】
【158】 127	【159】 127	【02-3】 157
【159】 127	【160】 127	ダイイチ 【第一】
【160】 127	【161】 127	【02-3】 157
【161】 127	【162】 127	ダイイチ 【第一】
【162】 127	【163】 127	【02-3】 157
【163】 127	【164】 127	ダイイチ 【第一】
【164】 127	【165】 127	【02-3】 157
【165】 127	【166】 127	ダイイチ 【第一】
【166】 127	【167】 127	【02-3】 157
【167】 127	【168】 127	ダイイチ 【第一】
【168】 127	【169】 127	【02-3】 157
【169】 127	【170】 127	ダイイチ 【第一】
【170】 127	【171】 127	【02-3】 157
【171】 127	【172】 127	ダイイチ 【第一】
【172】 127	【173】 127	【02-3】 157
【173】 127	【174】 127	ダイイチ 【第一】
【174】 127	【175】 127	【02-3】 157
【175】 127	【176】 127	ダイイチ 【第一】
【176】 127	【177】 127	【02-3】 157
【177】 127	【178】 127	ダイイチ 【第一】
【178】 127	【179】 127	【02-3】 157
【179】 127	【180】 127	ダイイチ 【第一】
【180】 127	【181】 127	【02-3】 157
【181】 127	【182】 127	ダイイチ 【第一】
【182】 127	【183】 127	【02-3】 157
【183】 127	【184】 127	ダイイチ 【第一】
【184】 127	【185】 127	【02-3】 157
【185】 127	【186】 127	ダイイチ 【第一】
【186】 127	【187】 127	【02-3】 157
【187】 127	【188】 127	ダイイチ 【第一】
【188】 127	【189】 127	【02-3】 157
【189】 127	【190】 127	ダイイチ 【第一】
【190】 127	【191】 127	【02-3】 157
【191】 127	【192】 127	ダイイチ 【第一】
【192】 127	【193】 127	【02-3】 157
【193】 127	【194】 127	ダイイチ 【第一】
【194】 127	【195】 127	【02-3】 157
【195】 127	【196】 127	ダイイチ 【第一】
【196】 127	【197】 127	【02-3】 157
【197】 127	【198】 127	ダイイチ 【第一】
【198】 127	【199】 127	【02-3】 157
【199】 127	【200】 127	ダイイチ 【第一】
【200】 127	【201】 127	【02-3】 157
【201】 127	【202】 127	ダイイチ 【第一】
【202】 127	【203】 127	【02-3】 157
【203】 127	【204】 127	ダイイチ 【第一】
【204】 127	【205】 127	【02-3】 157
【205】 127	【206】 127	ダイイチ 【第一】
【206】 127	【207】 127	【02-3】 157
【207】 127	【208】 127	ダイイチ 【第一】
【208】 127	【209】 127	【02-3】 157
【209】 127	【210】 127	ダイイチ 【第一】
【210】 127	【211】 127	【02-3】 157
【211】 127	【212】 127	ダイイチ 【第一】
【212】 127	【213】 127	【02-3】 157
【213】 127	【214】 127	ダイイチ 【第一】
【214】 127	【215】 127	【02-3】 157
【215】 127	【216】 127	ダイイチ 【第一】
【216】 127	【217】 127	【02-3】 157
【217】 127	【218】 127	ダイイチ 【第一】
【218】 127	【219】 127	【02-3】 157
【219】 127	【220】 127	ダイイチ 【第一】
【220】 127	【221】 127	【02-3】 157
【221】 127	【222】 127	ダイイチ 【第一】
【222】 127	【223】 127	【02-3】 157
【223】 127	【224】 127	ダイイチ 【第一】
【224】 127	【225】 127	【02-3】 157
【225】 127	【226】 127	ダイイチ 【第一】
【226】 127	【227】 127	【02-3】 157
【227】 127	【228】 127	ダイイチ 【第一】</

日本語文字論の挑戦



表記・文字・文献を考えるための17章

ひらがな・カタカナ・漢字・ローマ字等、世界的にも珍しい多文字種環境を有する日本語。古来、日本人にとって「文字」は、意思疎通のための情報ツールであると同時に、彼我の文化に架橋するための媒体であった。古代から現代までを視野に「書く」「読む」「学ぶ」「残す」という文字の諸機能に着目し、日本語における「文字論」の豊かな世界を示す初めての一冊。

加藤重広・岡埜裕剛〈編〉

かとう・しげひろ●一九六四年生まれ。北海道大学文学研究教授(言語科学研究室)。専門は日本語学・言語学。著書に『日本語統語特性論』(北海道大学出版会、二〇一三年)、『言語学講義』(筑摩書房、二〇一九年)などがある。

おかがき・ひろたか●一九八〇年生まれ。神戸女子大学文学部日本語日本文学科学准教授。専門は日本語学表記・漢字。著書に『B・H・チェンバレン「文字」のしるべ』(影印・研究)(編著、勉誠出版、二〇〇八年)などがある。

もくじ

まえがき「岡埜裕剛」

第1部：言葉はどう書くか

日本語の表記システムとその特徴

——日本語の言語学的文字論として「加藤重広」

近・現代小説の片仮名の用法一斑

——村上春樹『海辺のカフカ』を中心に「金水敏」

古代中国語における漢字の表語現象の諸相「松江崇」

平安時代の真仮名「乾善彦」

第2部：文献をどう読むか

訓点研究「超入門」小助川貞次

篆隸万象名義における漢文節の意味注記について「李媛」

図書寮本『類聚名義抄』における掲出語と注文の対応について「申雄哲」

辞書と文献の比較に基づく定訓論の再検討

——キリシタン版『落葉集』と『きやどべか』を中心として「白井純」

明治期における基本漢字文献の諸相「岡埜裕剛」

第3部：文字をどう学ぶか

『文選』の学習——訓点資料を通して見えてきたこと「渡辺さゆり」

学びの系譜とその豊饒——江戸寺子屋教科書往来物資料を中心に「萩原義雄」

変体仮名を学ぶ小学生「岡田一祐」

米国陸海軍日本語学校の漢字教材「kanji book」高田智和

第4部：文化をどう残すか

京都の「天橋立」を表す日本製漢字の展開と背景

——「運」を「運」を中心に「笹原宏之」

『蝦夷記』のアイヌ語申渡文における仮名の用法「佐藤知巳」

「仮名」と「Japen」仮名をめぐるいくつかの問題「富山日出夫」

漢字字体研究と日本古辞書データベースの構築「池田証壽」

あとがき「加藤重広」執筆一覧

定価七、七〇〇円(税込)
本体七〇〇〇円

A5判並製カバー装・四三三頁
二〇二一年三月刊行
ISBN978-4-585-38000-9 C3081

書名	部数
日本語文字論の挑戦 表記・文字・文献を考えるための17章 加藤重広・岡埜裕剛〈編〉	部
定価7,700円(税込)・本体7,000円 A5判並製カバー装・432頁 2021年4月刊行 ISBN978-4-585-38000-9 C3081	
ご送付先ご住所(通信欄)	

コーパスと 近代日本語書き言葉の 一人称代名詞の研究

近藤明日子 [著]

本体 8,500 円(+税)

A5判上製カバー装・400頁
ISBN978-4-585-28052-1 C3081
2021年2月刊行

【目次】

序

Ⅰ 本研究で使ったコーパスと研究方法

- 第1章 近代雑誌コーパスの設計
第2章 一人称代名詞と使用場面属性の抽出・分類
第3章 言語量から見る近代雑誌コーパスの資料特性

Ⅱ 近代書き言葉の一人称代名詞

- 第4章 『明六雑誌』の一人称代名詞
第5章 『東洋学芸雑誌』の一人称代名詞
第6章 『国民之友』の一人称代名詞
第7章 『太陽』の文語体書き言葉の一人称代名詞
第8章 明治・大正期の文語体書き言葉における一人称代名詞の通時的変化
第9章 『太陽』の口語体書き言葉の一人称代名詞

Ⅲ 近代話し言葉の一人称代名詞

- 第10章 『太陽』の口語体会話文の一人称代名詞

Ⅳ 女性雑誌の一人称代名詞

- 第11章 女性雑誌の書き言葉の一人称代名詞
第12章 女性雑誌の口語体会話文の一人称代名詞

結

参考文献・参考URL
本書と既発表研究との関係
謝 辞
索 引

新漢語の発生や言文一致の進展に代表されるように、約60年という短期間に書き言葉が劇的に変化した明治・大正期。この時期には活版印刷技術の普及やマスメディアの発達により、膨大な量の書き言葉の資料が出版され流通した。

本書では、そのような急激な変化を内包した資料群の縮図とも言える近代雑誌のコーパスを使用して、先行研究でほとんど扱われてこなかった明治・大正期の書き言葉における一人称代名詞の体系と通時的変化について分析・考察する。

一人称代名詞という言語項目の研究そのものとともに、それを果たすために、著者自らも構築に携わった近代雑誌コーパスの設計・資料特性の研究も展開。

コーパスの活用により浮かび上がる 近代日本語史の知られざる側面

【執筆者プロフィール】

近藤明日子(こんどう・あすこ)

国立国語研究所プロジェクト非常勤研究員。専門は日本語学。

著書に『シリーズ〈日本語の語彙〉5 近代の語彙①——四民平等の時代——』(共著、朝倉書店、2020年)、論文に「語種率・品詞率から見る明治・大正期の口語体実用文」(『近代語研究 第二十一集』武蔵野書院、2019年)、研究業績に『日本語歴史コーパス 明治・大正編Ⅱ教科書』(短単位データ1.0)(共同開発、国立国語研究所、2018年)、『日本語歴史コーパス 明治・大正編Ⅰ雑誌』(短単位データ1.2)(共同開発、国立国語研究所、2019年)、『日本語歴史コーパス 明治・大正編Ⅲ明治初期口語資料』(短単位データ0.8)(共同開発、国立国語研究所、2019年)などがある。

書 名	部 数
コーパスと近代日本語書き言葉の 一人称代名詞の研究 近藤明日子 [著]	本体8,500円(+税) A5判上製カバー装・400頁 2021年2月刊行 ISBN978-4-585-28052-1 C3081
ご送付先ご住所(通信欄)	

ベトナム語 空間ダイクシスと その展開

安達真弓 著

本体11,000円(+税)・本体10,000円

A5判上製カバー装・272頁

2021年5月刊行

ISBN978-4-585-38001-6 C3087

指示詞から
文末詞・感動詞へ

ベトナム語には、話し手から指示対象までの距離に基づいて区別される3系列の指示詞がある。指示詞の基本的な形式は全て、それと同形の文末詞と感動詞のいずれか、あるいはその両方を持つ。

指示詞・文末詞・感動詞という3つのカテゴリー間の形式的な類似は、偶然の産物か。これらの機能的な共通項は何か。

現代ベトナム語における同形式の指示詞・文末詞・感動詞の比較を通して、言語類型論にも新たな実証的データを提供する。

本書の特色

- ◎ベトナム語における3系列の指示詞の間の違いを明らかにする。
- ◎指示詞・文末詞・感動詞という3つのカテゴリーがダイクシス表現(その解釈に言語外の文脈情報を必須とする表現)であるという共通項を持つことに着目し、その多様な機能を体系的に整理する。

著者プロフィール

安達真弓 (あだち・まゆみ)

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、助教。

専門はベトナム語の調査研究。

主な論文に“Vietnamese demonstratives *dây, đó, kia*” (2011年、*Mon-Khmer Studies Journal, Special issue 3*: 1-8)や「ベトナム語の遠称指示詞 *kia* と *kial* について」(2012年、『東京大学言語学論集』32号: 1-10)がある。

目次

はじめに

第1章…先行研究の整理と用語の定義

第2章…ベトナム語の指示詞

第3章…ベトナム語指示詞由来の文末詞

第4章…ベトナム語指示詞由来の感動詞

第5章…おわりに

——ベトナム語指示詞から文末詞・感動詞への文法化

引用したデータ

参考文献

付録:自然談話のデータ

あとがき

書名	部数
ベトナム語空間ダイクシスとその展開 指示詞から文末詞・感動詞へ 安達真弓 著	部
ご送付先ご住所(通信欄)	

定価11,000円(税込)・本体10,000円

A5判上製カバー装・272頁

2021年5月刊行

ISBN978-4-585-38001-6 C3087

中世神道入門

カミとホトケの織りなす世界

伊藤 聡
門屋 温
〔監修〕

新井大祐
鈴木英之
大東敬明
平沢卓也
〔編〕

ダイナミックな発展を遂げた

中世日本の神道がわかる、

初のガイドブック！

日本古来の信仰でありながらも、

時代とともにめまぐるしい変化を遂げてきた「神道」。

中世日本では、仏教と神道の融合現象——「神仏習合」が

極めて発展的な展開をみせ、両部神道・伊勢神道・吉田神道など、

さまざまな神道の流派の諸派が生まれた。

また、儀礼のありかた、

体系的に組み合わせられた空間・図像・言説などにより、

独自の世界観・世界像を築き、同時代の宗教のみならず

政治・文化にも多大な影響を与えてきた。

近年、急速に研究の進展する「中世神道」の見取り図を、

「神道の流派」「基本的な概念」「中世の神々」「神話モチーフ」

「神道をめぐる人々」「イメージ」「神道書」など

テーマごとに立項し、第一線で活躍する研究者が、

多数の図版とともにわかりやすく解説する決定版！

【目次】

カラー口絵
序 言

1 総論

中世神道とは／神仏習合の諸相／中世神道
流派概説／神道伝授のかたち

2 中世の神々

古典神の変貌／広がる信仰／習合神の諸相
／鎌倉仏教の神

3 中世神話のモチーフ

4 中世神道の

イメージとイコノロジー

5 中世神道をめぐる人々

6 中世神道書の世界

中世日本紀／両部神道／伊勢神道／山王神
道／吉田神道／その他

【附説】 欧米言語による中世神道研究

【附録】 中世神道研究のための文献リスト

あとがき

執筆者紹介

定価 四、一八〇円（税込）
本体三、八〇〇円

A5判並製カバー装・

カラー口絵八頁＋本文三三九頁

二〇二二年四月刊行

ISBN978-4-585-31006-8 C1014

図版掲載
70点超！

【監修者プロフィール】

伊藤 聡 (いとう・さとし)

茨城大学人文社会科学部教授。専門は日本思想史、神道論。
著書に『神道の中世——伊勢神宮・吉田神道・中世日本紀』
(中公選書、二〇二〇年) などがある。

門屋 温 (かどや・あつし)

清泉女子大学非常勤講師。専門は日本宗教思想史。
論文に「神道をめぐる幻想の正体」「療法としての歴史
(知)」森話社、二〇二〇年) などがある。

…詳細目次は裏面をご覧ください。

書 名	部 数
中世神道入門 カミとホトケの織りなす世界 伊藤聡・門屋温 [監修] 新井大祐・鈴木英之・大東敬明・平沢卓也 [編]	定価 4,180 円・(本体価格3,800円) A5 判上製・カラー口絵 8 頁＋本文 392 頁 ISBN 978-4-585-31006-8 C1014 2022 年 4 月刊行
ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

中世神道入門

伊藤聡・門屋温「監修」
新井大祐・鈴木英之・大東敬明・平沢卓也「編」

カミとホトケの織りなす世界

〈詳細目次〉

カラー口絵
序言

1 総論

- 1 中世神道とは●中世神道とは○〔通史〕古代から中世へ／〔通史〕中世神話・中世日本紀／〔通史〕中世から近世へ／〔通史〕近世からみた中世
 - 2 神仏習合の諸相●神身離脱○護法善神●本地垂迹説○御霊信仰○神国思想○神観念
 - 3 中世神道流派概説●両部神道○伊勢神道○山王神道○三輪流神道○御流神道○吉田神道と吉田家○浄土系諸派と神道
 - 4 神道伝授のかたち●神道灌頂○神道書の形態
- 【コラム】中世神道と仏教普遍主義

2 中世の神々

- 1 古典神の変貌●国常立尊・天御中主神○天照大神○月読尊○素戔鳴尊○蛭児（恵比寿）○天児屋命
 - 2 広がる信仰●八幡○春日○住吉○稻荷（荼吉尼天）○三輪○日吉山王○天神○熊野○諏訪○二所（伊豆山・箱根）○三嶋○富士浅間
 - 3 習合神の諸相●牛頭天王○蔵王権現○清瀧権現○赤山明神・新羅明神○摩多羅神○宇賀弁才天○荒神○童子神○妙見
 - 4 鎌倉仏教の神●三十番神○禅と神々
- 【コラム】中世神道・中世の習合神と芸能——金春禅竹『明宿集』を通して

3 中世神話のモチーフ

- 第六天魔王と大日印文○盤牛王―陰陽道の神話○天竺からの飛来・漂着○野馬台詩と百王思想○神功皇后説話の変容○藤原氏の神話○呉太后後裔説○家・職・芸の神話
- 【コラム】中世宗教における身体性および性の問題

〈監修者・編者プロフィール〉

【監修者】

伊藤 聡 いとう さとし 茨城大学人文社会科学部教授。専門は日本思想史、神道論。著書に『神道の中世——伊勢神宮・吉田神道・中世日本紀（中公選書、二〇一〇年）などがある。』
門屋 温 かどや あつし 清泉女子大学非常勤講師。専門は日本宗教思想史。論文に「神道をめぐる幻想の正体」（『療法としての歴史』知『森話社』二〇一〇年）などがある。

4 中世神道のイメージとイコノロジー

- 1 神器・神宝●三種の神器○十種神宝○御正体
 - 2 神宮をめぐるイコン●心御柱○御形文・千木・堅魚木○屋形文錦・小車文錦
 - 3 神道説と図像●『麗気記』神体図○『両宮本誓理趣摩訶衍』・天照皇大神遷幸時代抄・『日譚貴本紀』○日本図
 - 4 神道曼荼羅●本地仏曼荼羅／垂迹曼荼羅／本迹曼荼羅○官曼荼羅／参詣曼荼羅
- 【コラム】天河弁才天曼荼羅

5 中世神道をめぐる人々

- 重源○貞慶○度会行忠○叙尊・寛乗○度会常昌（常良）○慈遍○文観○度会家行○北畠親房○叙阿○了誉聖阿○吉田兼俱
- 【コラム】偽書・偽経（仮託書）

6 中世神道書の世界

- 1 中世日本紀●古事記・日本書紀・旧事本紀・古語拾遺○日本紀注釈
- 【コラム】中世神道研究における「風土記」の可能性
- 2 両部神道●中臣祓訓解○麗気記○鼻帛書○三輪大明神縁起
- 【コラム】中世神道書における仏教語彙（1）『大和葛城宝山記』
- 3 伊勢神道●倭姫命世記○伊勢二所太神宮神名秘書○太神宮参詣記○豊葦原神風和記
- 【コラム】中世神道書における仏教語彙（2）『仏法神道麗気記』『三輪大明神縁起』
- 4 山王神道●耀天記○山家要略記○溪風拾葉集
- 5 吉田神道●唯一神道名法要集○神道大意
- 6 その他●神道集○諸神本懷集○番神問答記○神皇正統記

【附説】欧米言語による中世神道研究／【附録】中世神道研究のための文献リスト
あとがき／執筆者紹介

【編者】

新井大祐（あらい・だいすけ）國學院大學教育開発推進機構准教授。専門は中・近世神道思想史、社寺縁起。著書に『言説・儀礼・参詣——場と、いとなみの神道研究』（共著、弘文堂、二〇〇九年）がある。

鈴木英之（すずき・ひでゆき）北海学園大学人文学部教授。専門は日本思想史。著書に『中世学僧と神道——了誉聖阿の学問と思想』（勉誠出版、二〇一二年）がある。

大東敬明（だいとう・たかあき）國學院大學研究開発推進機構准教授。専門は神道史。著書に『真福寺善本叢刊第三期 神道篇（4） 中世神道資料集』（阿部泰郎と共編、臨川書店、二〇一〇年）がある。

平沢卓也（ひらさわ・たくや）立教大学助教。専門は日本思想史。論文に「吉田家と日本書紀——吉田兼俱の神代卷講釈を中心に」（遠藤慶太・河内春人・関根淳・細井浩志編『日本書紀の誕生——編纂と受容の歴史』八木書店、二〇一八年）などがある。

定価 四、一八〇円・本体 三、八〇〇円

A5判上製カバー装・カラー口絵八頁＋本文三九二頁
二〇二二年四月刊行・ISBN978-4-585-31066-8 C1014

入門 中国学の方法

【もくじ】

文字学 ● 戸内俊介

街角の漢字の源流を辿って——『風月堂』の「風」はなぜ「風」か

中国文学 ● 牧角悦子

神話と詩——文学研究の方法論

中国女性史 ● 仙石知子

何のために女性を描くのか——劉向『列女伝』

中国思想 ● 田中正樹

中国の古典思想文献を読む——『論語』を読んでみよう

古典小説 ● 伊藤晋太郎

『三国志演義』を研究する

校勘学 ● 小方伴子

清代に於ける書物の伝承と校勘——校本及びその題跋を手掛かりとして

日本漢学 ● 町泉寿郎

日本漢学とその研究方法をめぐって

中国文献学 ● 王宝平

中国学研究の新動向——中国における「域外漢籍」研究について

書道 ● 高澤浩一

中国書道史の旅

書道 ● 福島一浩

墨跡・禅僧の書——宋時代・鎌倉時代から届いた心の痕

漢文訓読法入門 ● 市來津由彦

返り点を付ける

お役立ちサイト集

「文化の宝庫」を 学ぶために

中国の言語・文学・歴史・思想・芸術等、中国文化が育んできた諸成果を研究する「中国学」。

中国学は、長大な歴史的経験を経た先人達の膨大な知恵を効率よく吸収し、自己の思考の糧とすることができ、非常に優れた学問であり、また我々が未来に向けて行動する際に参照すべき「指針」や「教訓」の宝庫と言える。

本書では、古代から二十一世紀にいたる多様な中国文化及び日本に受容された中国文化「日本漢学」の研究方法について、具体例にもとづき丁寧に解説する。

「文字学(漢字)」、「中国文学(神話と詩)」、「中国女性史(列女伝)」、「中国古典テキスト(論語)」、「中国小説(三国志演義)」、「校勘学(国語)」、「日本漢学」、「域外漢籍」、「日・中書道」、「中国古典読解(漢文訓読)」をテーマとした、中国学の「方法」を学ぶための11章。

書 名	部 数
入門 中国学の方法	定価1,760円(本体価格1,600円) A5判並製カバー装・264頁 ISBN 978-4-585-30005-2 C1000 2022年4月刊行
二松學舎大学文学部中国文学科[編]	部
ご送付先ご住所(通信欄)	